

Title	組織の環境適応に関する理論的・実証的検討
Sub Title	A study of organizational adaptation
Author	小沢, 和彦(Ozawa, Kazuhiko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2024
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2023.)
JaLC DOI	
Abstract	本報告書では「組織の環境適応に関する理論的・実証的検討」の研究成果の一つとして、主に商学会が出版している「三田商学研究」に掲載された論文について説明する。 グローバル化などにより組織を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。経営戦略論の文脈では、ダイナミック・ケイパビリティが環境変化への適応と関連深いと想定されてきた。ダイナミック・ケイパビリティについては、その概念自体が十分に明確でないという意見や、体系的に議論されていないという意見もあるものの、経営戦略論における有益な理論の一つとして注目されている。一方で、環境変化への対応について、経営組織論の中で注目されてきた概念が組織変革である。 既存研究においては、組織変革とダイナミック・ケイパビリティは関連深い概念と想定されてきた。しかし、組織変革研究に対してダイナミック・ケイパビリティ論にどのような可能性があるか、組織変革研究にどのように貢献できるかという点については、必ずしも十分に論じられてはいない。 本論文では組織変革研究におけるダイナミック・ケイパビリティ論の可能性及び今後の研究課題について検討している。 This report mainly describes an article published in Mita Business Review. The environment surrounding the organization changes rapidly. Accordingly, two streams of research have explored the causes of organizational adaptation. In one stream, researchers on organizational change have examined its antecedents and consequences. In the other stream, scholars on strategic management have investigated the effectiveness and problems of dynamic capabilities. Such prior studies have argued that dynamic capabilities can be a source of organizational change; however, the research stream on organizational changes has received limited attention. Hence, this study examines the relationship between organizational change and dynamic capabilities.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2023000010-20230182

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2023年度 学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	商学部	職名	准教授	補助額	300千円 (A)
	氏名	小沢 和彦	氏名（英語）	Kazuhiko OZAWA		
研究課題（日本語）						
組織の環境適応に関する理論的・実証的検討						
研究課題（英訳）						
A study of organizational adaptation						
1. 研究成果実績の概要						
本報告書では「組織の環境適応に関する理論的・実証的検討」の研究成果の一つとして、主に商学会が出版している「三田商学研究」に掲載された論文について説明する。 グローバル化などにより組織を取り巻く環境はめまぐるしく変化している。経営戦略論の文脈では、ダイナミック・ケイパビリティが環境変化への適応と関連深いと想定されてきた。ダイナミック・ケイパビリティについては、その概念自体が十分に明確でないという意見や、体系的に議論されていないという意見もあるものの、経営戦略論における有益な理論の一つとして注目されている。一方で、環境変化への対応について、経営組織論の中で注目されてきた概念が組織変革である。 既存研究においては、組織変革とダイナミック・ケイパビリティは関連深い概念と想定されてきた。しかし、組織変革研究に対してダイナミック・ケイパビリティ論にどのような可能性があるか、組織変革研究にどのように貢献できるかという点については、必ずしも十分に論じられてはいない。 本論文では組織変革研究におけるダイナミック・ケイパビリティ論の可能性及び今後の研究課題について検討している。						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
This report mainly describes an article published in Mita Business Review. The environment surrounding the organization changes rapidly. Accordingly, two streams of research have explored the causes of organizational adaptation. In one stream, researchers on organizational change have examined its antecedents and consequences. In the other stream, scholars on strategic management have investigated the effectiveness and problems of dynamic capabilities. Such prior studies have argued that dynamic capabilities can be a source of organizational change; however, the research stream on organizational changes has received limited attention. Hence, this study examines the relationship between organizational change and dynamic capabilities.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
小沢和彦	ダイナミック・ケイパビリティと組織変革	三田商学研究	2023年12月			